

関西で念願の初優勝

天理大

Aリーグ
昇格以来
八年目の
初優勝七戦全胜
待ちわびたこの感激

秋例の関西大学ラグビーAリーグで、天理大学ラグビー部が初優勝を飾った。

リリーグの緒戦に、関西大学で無敵を誇る同志社大学を降して破り、ついで以後負け知らず、六戦全勝で快調に首位を突っ走って、天理大は、十一月十九日、大阪・花園ラグビー場で、行なわれた最終戦の大阪経済大学にも21-0と快勝し、七戦全勝で初優勝を決め、十年間空白が守り続けた関西学生の手懸を手にした。

昭和三十八年にAリーグに昇格以来八年、幾多の先輩の果たせなかった悲願を達成した天理大は、大経大との試合終了後、舞部と、藤井監督を胴上げして優勝の感激にひたっていた。天理大の初優勝の原動力は、他校を圧した重鎮FWと快足バックだが、藤井監督「クローストップ欄」で紹介し「一技術面をさぐるに、選手たちも張りつとチームワークが何より大きかった」と、気力と闘志の勝利を強調した。天理大は正月の大学選手権（東京）に、関西代表として出場する。

このころ、天理大学のスポーツクラブがはつたつとした活躍ぶりを示し、全国的に「天理スポーツ」の名を高めている。ホッケー部は三度目の学生日本一に輝き、ラグビー部は関西リーグで念願の初優勝を飾った。

28回目の出場

天理高一部

制して争われ、11-0で二部が勝った。

第五十回全国高校ラグビー選手権大会の奈良県予選決勝は、十一月十八日、理高ラグビー場で、天理高一部二部（定時）必限一校が（出場）



11月20日関西ラグビーAリーグ 天理大の最終戦で大経大を降し見事七戦全勝で初優勝した喜びのフィフティーンと観衆（大阪・花園ラグビー場で）

8年間待ったこの感激